

## 当社初国内向け SCR システム搭載型船用エンジンが完成

日立造船株式会社は、住友重機械マリンエンジニアリング株式会社（東京都品川区、島本 英史社長、以下「住重 ME」）向けに、SCR（Selective-Catalytic-Reduction）システムを搭載した船用エンジンを完成させました。当社において、SCR システムを搭載した船用エンジンの国内向けの納入は本件が初めてとなります。



完成した SCR システム搭載型船用エンジン

### ■ 本件の概要

1. 発注者 : 住友重機械マリンエンジニアリング株式会社
2. 造船所 : 住友重機械マリンエンジニアリング株式会社 横須賀造船所
3. 搭載船種 : アフラマックスタンカー×1 隻
4. 供給機器 : 船用エンジン（6G60ME-C9.5）および船用高圧 SCR システム×1 式
5. 納 期 : 2018 年 5 月

### ■ 採用の背景

国際海事機関（International Maritime Organization、以下 IMO）が定める船舶航行時の NOx 排出量削減の第 3 次規制により、規制海域を航行する新造船には第 1 次規制からさらに 80%の NOx の削減が求められています。当社の船用 SCR システムは NOx 第 3 次規制への対応策として

実証船での試験運転を積み重ね、環境意識の高い造船所および船主から高く評価いただき、採用に至りました。

#### ■当社の船用 SCR システムの特長

当社は、船用エンジン世界最大手の MAN Diesel & Turbo 社（ドイツ）のライセンシーであり、世界で唯一、船用エンジンと触媒を製造するメーカーです。自社内で船用エンジンと触媒を製造することで、船用エンジンに最適な装置や触媒のコンパクト化と触媒の活性性能の両立を実現することができます。

当社は今後、船用 SCR システム搭載型エンジンの小型化に取り組み、さらに多様な船舶への搭載を可能にすることで、NOx 排出量の削減に貢献してまいります。

（終）